

No.254  
1985年7月 第1号発行  
平成18年 2006 August

# 波紋

PUBLISHER: 森松株式会社  
EDITOR: 梅田文康

## 第1回 新商品発表会

優勝 ライトSTAFF  
「どこでもホワイトボード」

「新商品開発」をテーマにした初めての試みでした。

優勝できた要因は、チーム7名全員が参加し商品化したことです。

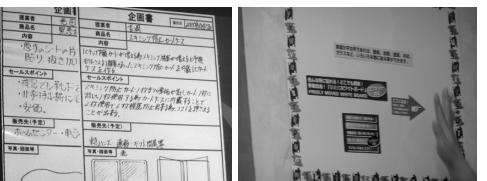
チームは、営業4名・配送1名・内務2名の7名です。各自が新商品を考え、企画書を作成しそれらを1つずつ皆で検討しながら進めていきました。

特に、配送・内務の人は、通常の仕事では経験したことがない作業の連続で、商品が出来るまでの流れ・予測外の問題発生・更なる改善・検討・商品を売ること…を、初めて経験しました。

今回は、皆が勉強できた活動でありました。商品は、「どこでもホワイトボード(素材はシーアイ化成製です)」で、吸着シート・磁性粉・ホワイトボードの3層品です。平面であれば、必要に応じて脱着でき、マグネットが貼れてマーカーペンが使用できる画期的な商品です。



発表者 伊東郁二  
メンバー 光田昭男 吉岡孝記 加藤雅昭  
成瀬勝英 小坂美香 呉亭



アメリカについては3年前の滞在中にもいろいろと書きましたが、どのような文化も民族も受け入れ吸収していく懐の深さを基盤として、アメリカの今の発展があると思います。そして私はこのアメリカのように場所、文化を問わず、プラスチックという共通の商材を通じて商売できるような会社をつくって行きたいと思います。

アメリカで展示会・そして日系企業の支店を拝見し、さまざまな背景を持つ人々が一つの環境で働いているのを見ると、いずれ日本でも同じような状況になることと思うのです。これがいわゆる国際化、ということでしょう。

[naoki@morimatsu.net](mailto:naoki@morimatsu.net)

『シカゴNPE見学と  
「K」-ヨーク』  
社長 森 直樹

6月18日より一週間、展示会見学ということでアメリカ・シカゴへ行き、そしてニューヨークにて文具市場を見てきました。

「NPE」はドイツの「K」、と並ぶプラスチック展示会として3年毎に開催され、今回は約2,000社の出展がありました。東京ドームの2倍の会場は一日一杯かけてなんとか回ることができます。

生分解樹脂については米国プラスチック業界ではそれほど重視されていない様子。しかしリサイクルにおいて必要な破碎機については各国から出展多数。コスト第一で、環境への意識も欧米ほど高くないことを考えると当然といえます。

アメリカについては3年前の滞在中にもいろいろと書きましたが、どのような文化も民族も受け入れ吸収していく懐の深さを基盤として、アメリカの今の発展があると思います。そして私はこのアメリカのように場所、文化を問わず、プラスチックという共通の商材を通じて商売できるような会社をつくって行きたいと思います。

アメリカで展示会・そして日系企業の支店を拝見し、さまざまな背景を持つ人々が一つの環境で働いているのを見ると、いずれ日本でも同じような状況になることと思うのです。これがいわゆる国際化、ということでしょう。

## 速報

10月  
5日・6日 第14回  
元気が出る森松展  
開催決定!  
どうぞ期待!!

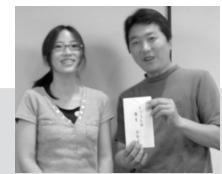
26日(土)	25日(金)	23日(水)	22日(火)	21日(月)	19日(土)	18日(金)	14日(月)	11日(金)	10日(木)
OS(顧客満足)向上会議 18時~	CS(顧客満足)向上会議 18時~	生産会議 18時~	経営会議 7時30分~	誕生日会	C-I化成・滋賀工場見学	小坂美香さん誕生日	福重貞子さん誕生日	夏期休暇 (11日(金)~16日(水)まで)	松本美代子さん誕生日
編集会議 10時~	インターホーム 第四土曜休み								

2006年  
8月  
の予定



## 第7回 ボウリング大会

### 優勝コメント



王さんと黒松さん  
久しぶりのボウリングで、この優勝と次の日の体の重さと昼間の改善発表会の辛さが忘れられない1日になりました。ただすごく楽しみました。接戦だったので緊張感もありました(隣のレーンの大和田さんと2ゲーム合計で確か3本差)。

ボウリングにしろゴルフにても続けていかないとうまくならない。最近つくづく感じています。ありがとうございました。

黒松康郎



昨年6月に結婚してから早1年が過ぎました。当初、周囲の方々にはバカな選択だと言われた往復2時間の通勤も、毎朝5時半に起き、なんとかこなせるようになります。それよりも、一人では無い毎日に随分助けられているのが実感です。妻は今も仕事を続けていますが、仕事を終えた後、毎日本当に良く頑張っててくれています。私は一人暮らしの期間が長かった為、炊事、洗濯といった家事全般は難無くこなせていたのですが、この一年を振り返ってみるとやはりその頻度は減り、最近考え方直す事があります。よく、夫婦といえども感謝の気持ちを忘れてはいけないという事を耳にしますが、やはり人間、身体の疲れや時間が無い時には気持ちだけでは無く行動も伴わない、結局口先だけということになってしまいます。

結婚生活2年目に入った今年は、感謝の気持ちを行動に移して、夫婦で協力し合える家庭にしていきたいと思います。

### 結婚生活



梅田文康(マツハシ・サークル)

## 読後感想文

## 「おりこうさん おばかさんの お金の使い方」

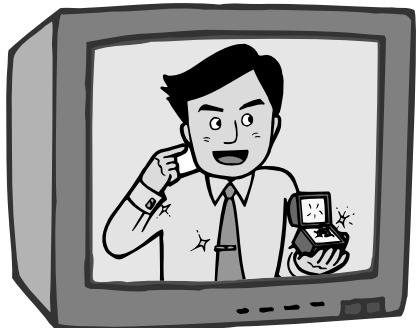
板倉 雄一郎 著

小坂 美香 (ライトSTAFF・サークル)

この本には、お金に関する色々な仕組みについて分かりやすく書かれていて勉強になりました。

例えばテレビ通販で、ローンを組んでも金利を取りませんとうたっている事がありますが、初めから金利分のコストを商品価格に上乗せしてあり、通販会社は損をしないようになっていました。テレビ通販に限りませんが、中には送料が無料という物もありますが、これも同じ仕組みになっているんだろうなと思いました。また、物を買う時にも、その場の雰囲気に騙されず、この商品は自分にとって本当に価値がある物なのか、今買わないといけない物なのかを考えて、買わなければいけないなと思いました。

誰でも、無料とか割引きなどという言葉には弱いと思いますが、そんなうまい話なんてどこにもある訳が無く、必ずお店側が儲かる仕組みになっているんだという事を頭に置き行動したいです。



目の検診に行き緑内障の疑い有りと言われました。

緑内障とは、視神経が障害され、視野が狭くなったり、部分的に見えなくなったりする病気です。

正面を向いてまっすぐ前方を見つめた時に片目で上下左右の見える範囲を視野と言います。初期の段階では、見えない部分はごく小さい範囲なので自覚症状はほとんどありません。一般に鼻側の上辺りから視野が狭くなつて緑内障が進行すると、中心部分に見えない範囲が広がっていくそうです。

視神経は、一度障害を受けてしまうと回復する事は無いそうです。緑内障の治療で大切な事は眼圧を下げこれ以上視神経が障害されないようにすることです。

目の検診はなかなかする人が少ないと思います。年に一度は検診を受けた方が良いと思います。

## 『緑内障』



正面を向いてまっすぐ前方を見つめた時に片目で上下左右の見える範囲を視野と言います。初期の段階では、見えない部分はごく小さい範囲なので自覚症状はほとんどありません。一般に鼻側の上辺りから視野が狭くなつて緑内障が進行すると、中心部分に見えない範囲が広がっていくそうです。

視神経は、一度障害を受けてしまうと回復する事は無いそうです。緑内障の治療で大切な事は眼圧を下げこれ以上視神経が障害されないようにするこ

村田恒夫 (ウルトラセブン・サークル)



TKC全国会の創設者・初代会長の故飯塚毅の半生を描いた映画「不撓不屈」を観てきました。税理士・飯塚毅が中小企業の経営と従業員への利益還元のため勧めていた節税対策。しかしこれを認めない国税局と飯塚は7年に及ぶ想像を絶する対立を繰り広げることとなる（国家権力と一税理士との前代未聞の闘争劇）。

国税局は、節税ではなく脱税の指導をしているということ、国のメンツをかけて総動員で自宅・事務所、顧問先等へ一斉に調査を行う。いやがらせともいえるような調査が続き、顧問先・職員も不安を抱くようになり、徐々に飯塚税理士事務所から離れていくようになります。そんな状況下で事務所の幹部4名の逮捕。こんな苦境におかれても、家族の愛に支えられ不撓不屈の精神によって、国税庁（國家権力）に屈することなく勝利したその生き様には感動しました。

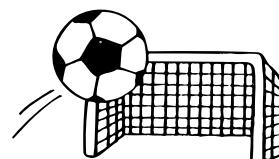
実際に、国税局は税金を取る立場で税法を解釈するし、税理士は節税対策を頭において税法を解釈するのだから、双方の考え方方にズレがあって当然だと考えます。税法自体を、もつと簡素化してわかりやすくすれば、こんな問題も起きないでしょう。最近の税法改正は、簡素化になるどころか逆行して複雑化しているような気がします。経理の立場として、国には税金を取ることばかり考えるのではなく、税法を簡素化する努力をしてもらいたいものです。

吉岡孝記 (ライトSTAFF・サークル)



4年に1度のワールドカップサッカーが開幕し、イタリアの優勝で幕を閉じました。すばらしいプレーに酔いしたのは、私だけではないと思います。眠い目をこすりながら、みんな観戦したことでしょう。わが日本は残念ながら予選敗退になりました。選手はみんながんばったと思いますが、世界の壁は厚かったと実感させられました。中田選手が走り勝てるかと言うことを言つておりましたが、外国人選手と比べ体力的に劣るのは明らかです。技術だけなく体力的に不足している部分を補う意味でも外国人選手より走る、動くことが重要であると言いたかつたのでしょうか。私が見た日本選手中では中田選手が一番動いていたように思います。それで最後に手がグランドに立てないぐらい消耗していたのでしょうか。

営業でもそうですが各自得意な物はあると思いますが、不得意な物をいかに補うか、得意な物をさらにはどこまで伸ばすか人それぞれ考え方いろいろあると思いますが、まずは行動、人よりたくさん走ることが大事でしようか。中田選手の引退は大変残念なことですがあと4年後を期待しています。しかし長いな。



## ◆食欲増進

ビールに含まれている炭酸ガスが、胃壁を刺激して胃液の分泌を促し、胃の働きを活発にさせる作用があります。またホップ独特の苦味は消化を助け、食欲増進に効果があり、さらに殺菌作用があるので、蒸し暑い日本の夏には、うつてつけの飲み物と言えそうです。

たくさんの良いところがありました。飲みすぎて、体を壊さないようにには注意したいです。



## ◆女性ホルモン様物質で骨密度減少を抑制

ホップに含まれる「フュリストロゲン」という成分は、大豆に含まれているイソフラボン同様に、女性ホルモンのエストロゲンと似た働きをします。

## ◆ポリフェノールが生活習慣病を予防

ビールにもポリフェノールを多く含んでいます。これが明らかになり、虚血性心疾患リスクの低減効果や、発がんプロセスの抑制作用などが報告されています。

## 『ビール効果』



大和田夕美 (ウルトラセブン・サークル)

## 『不撓不屈』